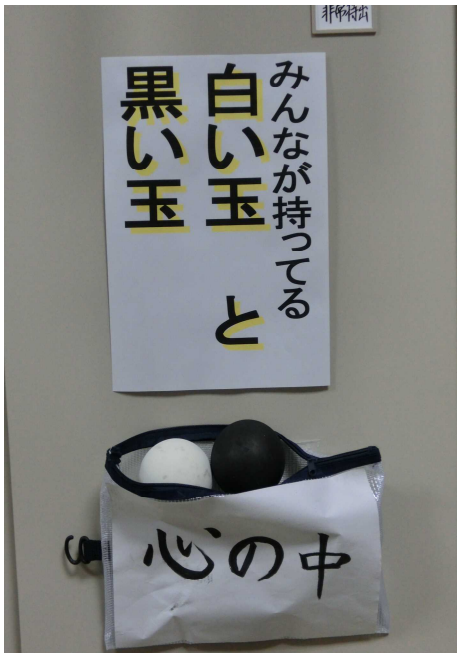


かがやけ あさひ

校長室だより 5月

思い出してね！ 白い玉と黒い玉



昨年度もみんなに話した白い玉と黒い玉の話
を再びしました。白がよい玉で、黒が悪い玉
(白黒という色でよい悪いと決めつけるのはよくない
ですが、ここは子ども達にわかりやすく話すためとい
うことでご了解下さい) 校長先生も含め、人間はみんな
心に白い玉と黒い玉を持っています。白い玉は、人に
優しく、また人を助けたり支えたり、人を喜ばせる言
葉や行動をすることで、黒い玉は、人を傷付けたり、
困らせたり、意地悪な言葉や行動です。そして、白
い玉を投げたら、必ず白い玉が返ってくるし、黒い玉
を投げたら必ず黒い玉が返ってくるのです。ここでと
ても大事なことは、

心の袋から出した玉の色を必ず私たちは見てから投げ
ているということです。つまり、そのことがよいことな
のか悪いことなのかを分かっていて投げてしまうので
す。だから、黒い玉をつかんでしまったら、投げてし
まう前に心の袋にそっと戻す勇気を是非持ってほしい
と思います。昨年度をそうでしたが、児童集会では、
みんな真剣に聞いてくれました。ある低学年の子ども
達が、「さっき〇〇さんが言ったのは黒い玉やで。」と
校長室の前で玉に触れながら話しているのが聞こえ
てきました。子どもたち一人ひとりの心の中に、しっ
かりはいているのが嬉しいですね。反響は大きかった
ですよ。これからも自分自身に問いかけてくれたら
いいですね。

避難訓練を真剣にしたよ。

熊本の大震災があつて、今も尚、九州全体に大きな余震が続いています。



亡くなられた方や被災された方々のことを思うと心が痛みます。一日も早い復旧と私たちに少しでもできることを考えなければなりません。と同事にこのような災害がいつ、どこで起きてもおかしくないことを考えると、この避難訓練も大切なことです。今回は火災を想定した訓練になりました。機械の「火事です、火事です」という火災のアナウンスが流れたことで、より臨場感が生まれ、子ども達も真剣に取り組んでくれました。給食室から出火したという想定で避難経路を確認しながらおこないましたが、子ども達は『おはしも』をよく守り頑張りました。『おはしも』とは、『お』押さない 『は』走らない（校舎内を走らず、外へ出たら運動場ではいち早く走って運動場に避難することです）『し』しゃべらない 『も』もどらないをよく守っていました。後は、煙を吸い込まないように口や鼻を手で押さえたり、ハンカチで押さえて身を低くして早く避難していけばいいですね。火災の時に一番怖いのは煙です。火から早く逃れることはもちろんですが、煙に巻き込まれて呼吸困難になり、身体が自由がきかなくなることが一番怖いことですから。

色別団結式 大成功に



たてわり活動をしていく前に、各色の顔合わせをして、このメンバーで一年間協力して行事に取り組んでいくことを確認しました。六年生がリーダーになり、五年生がサブリーダーになり、体育館に集まった子ども達の笑顔と団結の言葉、かけ声が部屋いっぱいに響きわたりました。どの色もいい出会いになり、いいスタートが切りましたよ。

「天使の優しさ、白馬のすばやさ、ホワイトタイガーの力強さ」や「もえろもえろ、赤組 炎のように ハイハイハイ」等々のかけ声が…。